

2023年4月期 2Q 決算説明会

株式会社 アインホールディングス
2022年12月8日

決算概要

連結P/L

売上高は新型コロナウイルス感染拡大の影響は受けたものの、新規出店及び既存店の伸長により、前期比111.9%、計画比99.1%となった。経常利益は売上高の増加に伴い、前期比118.9%、計画比83.4%となった。

(単位：百万円)	22/4期2Q 実績	23/4期2Q 計画	23/4期2Q 実績	前期 増減額	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	152,972	172,833	171,204	18,232	111.9	99.1
売上総利益	22,838	27,288	24,986	2,148	109.4	91.6
売上比 (%)	14.9	15.8	14.6			
販売管理費	17,062	18,803	18,202	1,140	106.7	96.8
売上比 (%)	11.2	10.9	10.6			
営業利益	5,776	8,485	6,784	1,008	117.5	80.0
売上比 (%)	3.8	4.9	4.0			
経常利益	6,127	8,732	7,283	1,156	118.9	83.4
売上比 (%)	4.0	5.1	4.3			
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,338	4,497	3,804	466	114.0	84.6
売上比 (%)	2.2	2.6	2.2			
1株当たり 四半期純利益 (円)	94.68	128.02	108.30	13.62	114.4	84.6

▶ 単位未満切り捨て

フォーマシー事業 連結

売上高はM&Aを含む新規出店及び前期出店の寄与により、前期比111.9%、計画比99.1%となった。セグメント利益は前期比102.6%、計画比82.6%となった。

(単位：百万円)	22/4期2Q 実績	23/4期2Q 計画	23/4期2Q 実績	前期 増減額	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	136,905	154,660	153,248	16,343	111.9	99.1
売上総利益	17,115	20,600	18,335	1,220	107.1	89.0
売上比 (%)	12.5	13.3	12.0			
販売管理費	6,902	7,799	8,000	1,098	115.9	102.6
売上比 (%)	5.0	5.0	5.2			
営業利益	10,212	12,800	10,334	122	101.2	80.7
売上比 (%)	7.5	8.3	6.7			
セグメント利益	10,491	13,040	10,769	278	102.6	82.6
売上比 (%)	7.7	8.4	7.0			
店舗数	1,091	1,213	1,209	118	110.8	99.7

▶ 単位未満切り捨て

リテール事業 連結

売上高は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたものの、既存店の回復及び前期出店寄与により前期比124.3%、計画比100.1%となった。セグメント利益は計画を403百万円上回る349百万円となった。

(単位：百万円)	22/4期2Q 実績	23/4期2Q 計画	23/4期2Q 実績	前期 増減額	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	9,816	12,195	12,205	2,389	124.3	100.1
売上総利益	3,321	4,534	4,562	1,241	137.4	100.6
売上比 (%)	33.8	37.2	37.4			
販売管理費	4,475	4,588	4,244	▲231	94.8	92.5
売上比 (%)	45.6	37.6	34.8			
営業利益	▲1,153	▲54	317	1,470	-	-
売上比 (%)	-	-	2.6			
セグメント利益	▲1,125	▲54	349	1,474	-	-
売上比 (%)	-	-	2.9			
店舗数	72	81	78	6	108.3	96.3

▶ 単位未満切り捨て

連結B/S

ネットキャッシュは32,608百万円、自己資本比率は52.3%と、コロナ禍においても健全な財務体質を維持している。

22/4期末 (単位：百万円)

資産の部		負債・純資産の部	
流動資産	100,765	流動負債	81,805
現預金	59,729	短期借入金	2,643
固定資産	111,696	固定負債	11,645
のれん	36,352	長期借入金	5,815
繰延資産	-	純資産計	119,010
資産合計	212,461	負債・純資産合計	212,461
ネットキャッシュ			51,030
自己資本比率 (%)			56.0

23/4期2Q末 (単位：百万円)

資産の部		負債・純資産の部	
流動資産	98,288	流動負債	93,308
現預金	46,723	短期借入金	3,776
固定資産	132,853	固定負債	16,964
のれん	48,388	長期借入金	10,038
繰延資産	-	純資産計	120,869
資産合計	231,141	負債・純資産合計	231,141
ネットキャッシュ			32,608
自己資本比率 (%)			52.3

▶ 単位未満切り捨て

▶ ネットキャッシュ = 現預金 - 有利子負債

資産の部

現金及び預金が減少し、棚卸資産及びのれんが増加したことにより、総資産は22/4期末より18,680百万円増加した。

(単位：百万円)	22/4期2Q末	22/4期末	23/4期2Q末	増減額
現金及び預金	58,692	59,729	46,723	▲13,006
受取手形及び売掛金	9,928	10,110	12,147	2,037
棚卸資産	16,312	14,790	21,440	6,650
流動資産合計	98,561	100,765	98,288	▲2,477
建物及び構築物	17,034	17,512	19,983	2,471
土地	10,030	8,581	10,585	2,004
有形固定資産合計	31,266	30,636	36,903	6,267
のれん	39,133	36,352	48,388	12,036
無形固定資産合計	43,180	41,219	53,717	12,498
投資有価証券	2,429	2,503	2,811	308
繰延税金資産	4,629	5,319	6,069	750
敷金及び保証金	22,951	22,785	23,070	285
投資その他の資産合計	37,434	39,840	42,232	2,392
固定資産合計	111,881	111,696	132,853	21,157
繰延資産計	-	-	-	-
資産合計	210,442	212,461	231,141	18,680

▶ 単位未満切り捨て ▶ 投資総額（有形及び無形固定資産＋敷金・保証金）は5,997百万円

▶ 増減額：22/4期末・23/4期2Q末比較

負債・純資産の部

M&Aを含む新規出店により買掛金は9,963百万円増加、短期及び長期借入金は5,356百万円増加した。

(単位：百万円)	22/4期2Q末	22/4期末	23/4期2Q末	増減額
買掛金	51,465	50,756	60,719	9,963
短期借入金	3,051	2,643	3,776	1,133
流動負債合計	81,959	81,805	93,308	11,503
長期借入金	6,860	5,815	10,038	4,223
固定負債合計	12,672	11,645	16,964	5,319
負債合計	94,632	93,450	110,272	16,822
資本金	21,894	21,894	21,894	-
資本剰余金	20,500	20,500	20,504	4
利益剰余金	74,907	78,661	80,533	1,872
株主資本合計	115,899	119,038	120,932	1,894
純資産合計	115,810	119,010	120,869	1,859
負債純資産合計	210,442	212,461	231,141	18,680

▶ 単位未満切り捨て

▶ 増減額：22/4期末・23/4期2Q末比較

連結CF

大型M&Aにより投資キャッシュフローが10,356百万円減少したことにより、現金及び現金同等物期末残高は前期より14,918百万円減少したが、潤沢なキャッシュを維持している。

(単位：百万円)	22/4期2Q	23/4期2Q	増減額
営業キャッシュフロー	17,314	8,457	▲8,857
税金等調整前当期利益	6,064	7,165	1,101
減価償却費	2,117	2,567	450
のれん償却額	2,055	2,115	60
売上債権増減額（▲は増加）	4,245	1,694	▲2,551
棚卸資産増減額（▲は増加）	▲1,707	▲4,890	▲3,183
未収入金増減額（▲は増加）	▲1,316	▲1,659	▲343
仕入債務増減額（▲は減少）	3,983	5,255	1,272
投資キャッシュフロー	▲8,261	▲18,617	▲10,356
有形・無形固定資産取得による支出	▲3,590	▲5,680	▲2,090
子会社株式取得による支出	▲2,223	▲14,602	▲12,379
財務キャッシュフロー	▲5,630	▲5,794	▲164
現金及び現金同等物増減額	3,422	▲15,955	▲19,377
現金及び現金同等物期末残高	58,432	43,514	▲14,918

▶ 単位未満切り捨て

事業価値分析

	22/4期2Q	22/4期	23/4期2Q	増減
自己資本比率 (%)	55.0	56.0	52.3	▲2.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	112.3	96.6	95.0	▲17.3
株価収益率 (倍) PER	35.43	28.99	28.86	▲6.57
1株当たり当期純利益 (円) EPS	94.68	201.47	108.30	13.62
株価純資産倍率 (倍) PBR	2.05	1.74	1.83	▲0.22
1株当たり純資産 (円) BPS	3,285.58	3,385.51	3,438.38	152.8
総資産利益率 (%) ROA	1.6	3.4	1.7	0.1
株主資本利益率 (%) ROE	2.9	6.0	3.2	0.3
EBITDA (百万円)	9,949	24,065	11,467	1,518
EV/EBITDA倍率 (倍)	19.17	6.54	16.60	▲2.57
ネットD/Eレシオ (倍)	▲0.42	▲0.43	▲0.27	0.15
ネットキャッシュ (百万円)	48,529	51,030	32,608	▲15,921
株主価値 (百万円)	239,434	208,305	222,986	▲16,448
時価総額 (百万円)	236,375	205,143	219,562	▲16,813

▶ 単位未満切り捨て ▶ 増減: 22/4期2Q・23/4期2Q比較

▶ ネットD/Eレシオ = 純有利子負債 (有利子負債 - 現金及び預金) / 株主資本

▶ ネットキャッシュ = 現金及び預金 - 有利子負債

▶ 株主価値 = EV (時価総額 + 有利子負債 - 余剰現金) - 純有利子負債

▶ 時価総額: 自己株式を除く

▶ 時価総額算出株価: 22/4期2Q末6,710円 (21/10月末) 22/4期末5,840円 (22/4月末) 23/4期2Q末6,250円 (22/10月末)

23/4期 計画 (連結)

23/4期はファーマシー事業160店舗、リテール事業10店舗の新規出店により、売上高は前期比114.8%、経常利益は前期比127.8%を見込む。

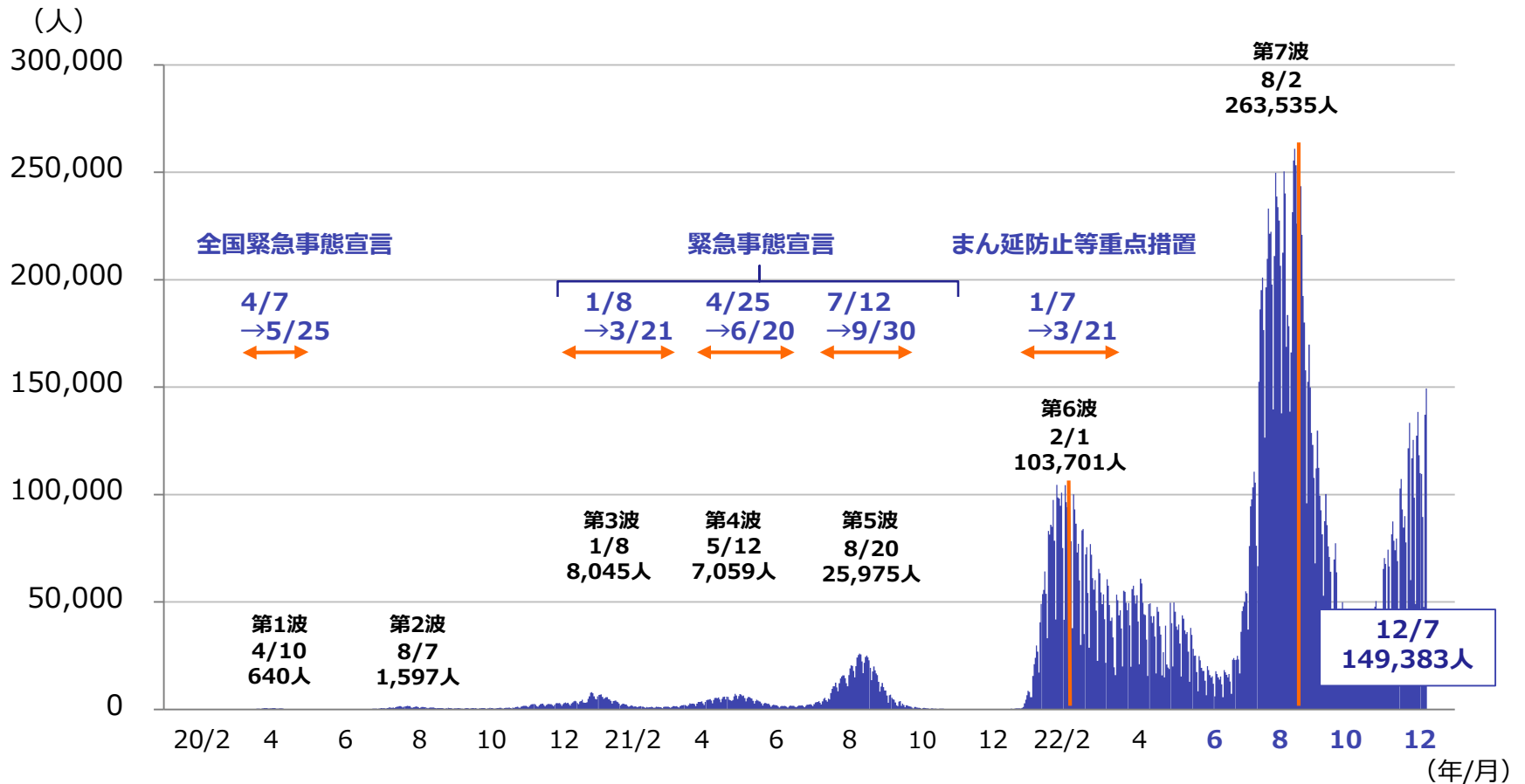
(単位：百万円)	21/4期 実績	22/4期 実績	23/4期 計画	前期 増減額	前期比 (%)
売上高	297,305	316,247	363,000	46,753	114.8
売上総利益	46,155	49,971	58,720	8,749	117.5
売上比 (%)	15.5	15.8	16.2		
販売管理費	35,222	34,832	38,720	3,888	111.2
売上比 (%)	11.8	11.0	10.7		
営業利益	10,932	15,139	20,000	4,861	132.1
売上比 (%)	3.7	4.8	5.5		
経常利益	12,649	16,041	20,500	4,459	127.8
売上比 (%)	4.3	5.1	5.6		
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,697	7,092	11,000	3,908	155.1
売上比 (%)	2.3	2.2	3.0		
1株当たり 当期純利益 (円)	189.04	201.47	313.15	111.68	155.4
年間配当金 (円)	55.00	55.00	60.00	5.00	109.1

▶ 単位未満切り捨て

Review

国内新規感染者数

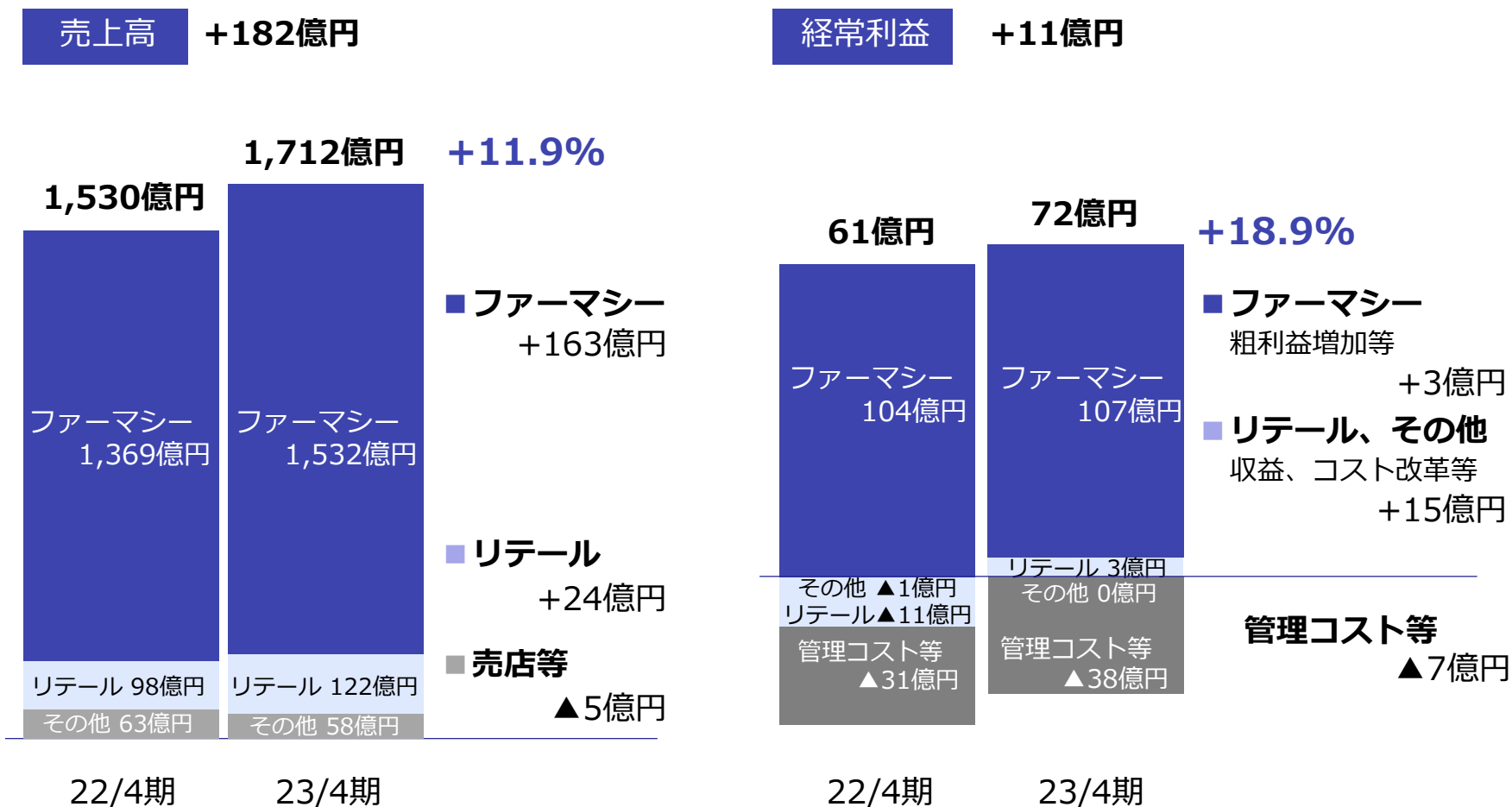
12月7日時点の国内新型コロナウイルス感染者数は25,554,733例、死亡者数は50,819人となった。



- ▶ 厚生労働省新型コロナウイルス感染症についてのオープンデータより
- ▶ 緊急事態宣言の期間は、最長期間の地域より抜粋

連結 対前期比較

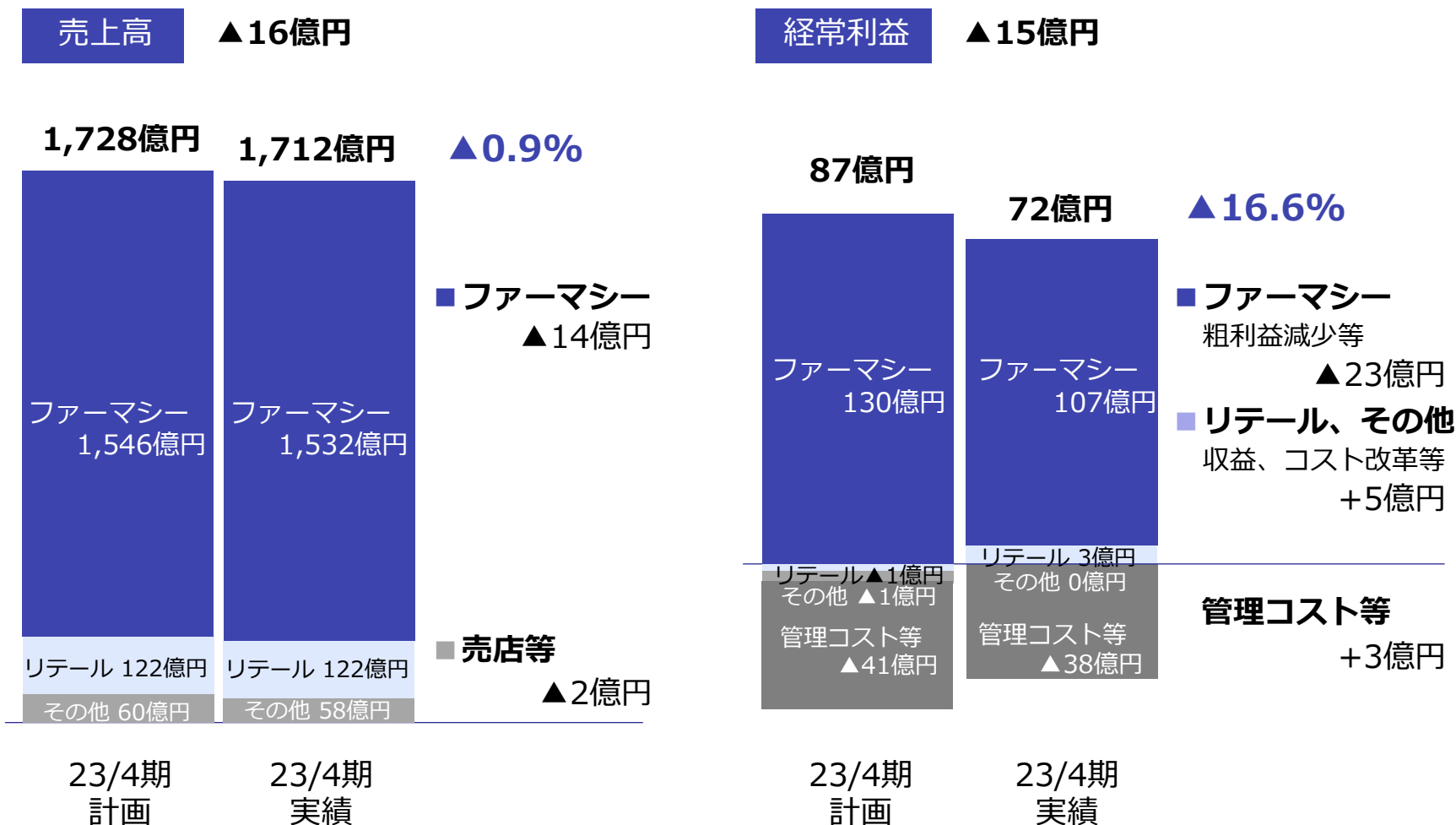
ファーマシー事業及びリテール事業の売上高の伸長等により、経常利益は11億円の増益となった。



▶利益に対して減少：▲表記

連結 対計画比較

処方箋枚数の計画未達により、売上高は▲16億円、経常利益は▲15億円となった。



▶利益に対して減少：▲表記

Strategy

Strategy

トップラインの拡大

- ファーマシー事業 **160店舗**出店（オーガニック48店舗 M&A112店舗）
- リテール事業 **10店舗**出店

人材採用 育成

- **新卒薬剤師500人を採用**（22/4月 実績660人）
- **フィールドマネジャー（FM）の定着**
- 人材育成

経営基盤の強化

- DXの推進及び公式アプリ等による顧客サービスの向上
- サステナビリティ経営の推進

アインズ&トルペの拡大

- 好条件好立地への出店とコスト適正化

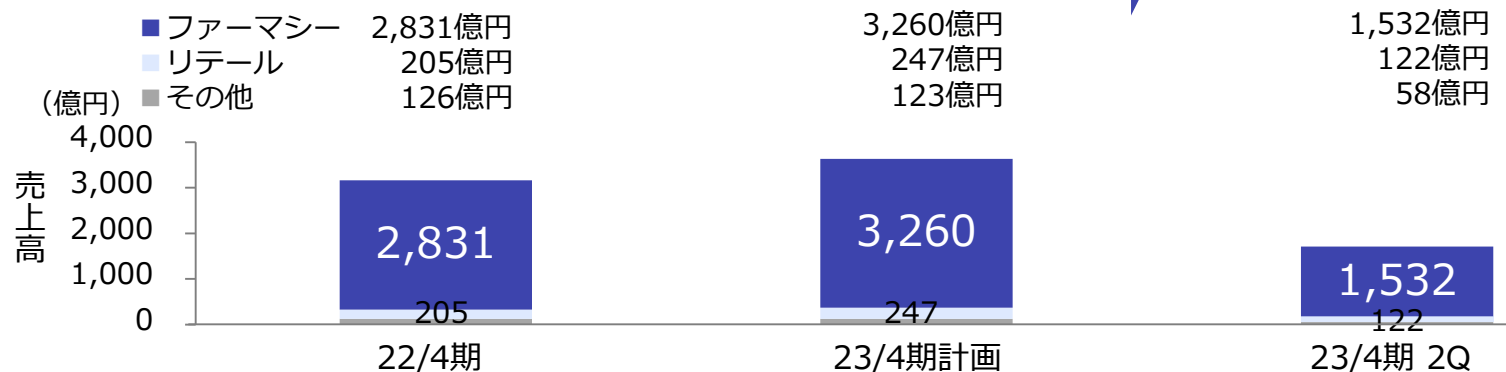
トップラインの拡大

- ファーマシー事業 **160店舗**出店（オーガニック48店舗 M&A112店舗）
- リテール事業 **10店舗**出店

■ トップライン

3,162億円 $\nearrow +14.8\%$ 3,630億円

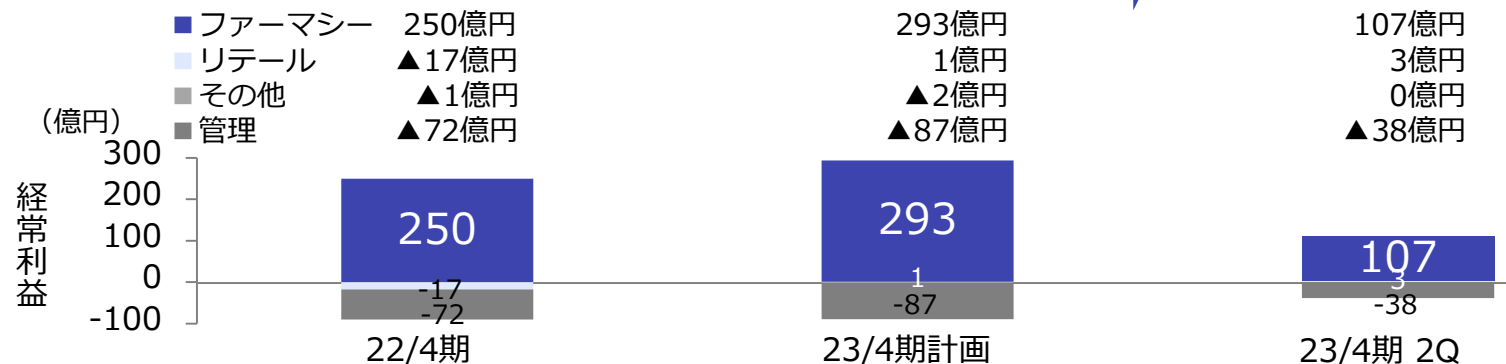
1,712億円



■ インカム

160億円 $\nearrow +27.8\%$ 205億円

72億円



トップラインの拡大

- ファーマシー事業 **160店舗**出店 (オーガニック48店舗 M&A112店舗)
- リテール事業 **10店舗**出店

23/4期2Q実績

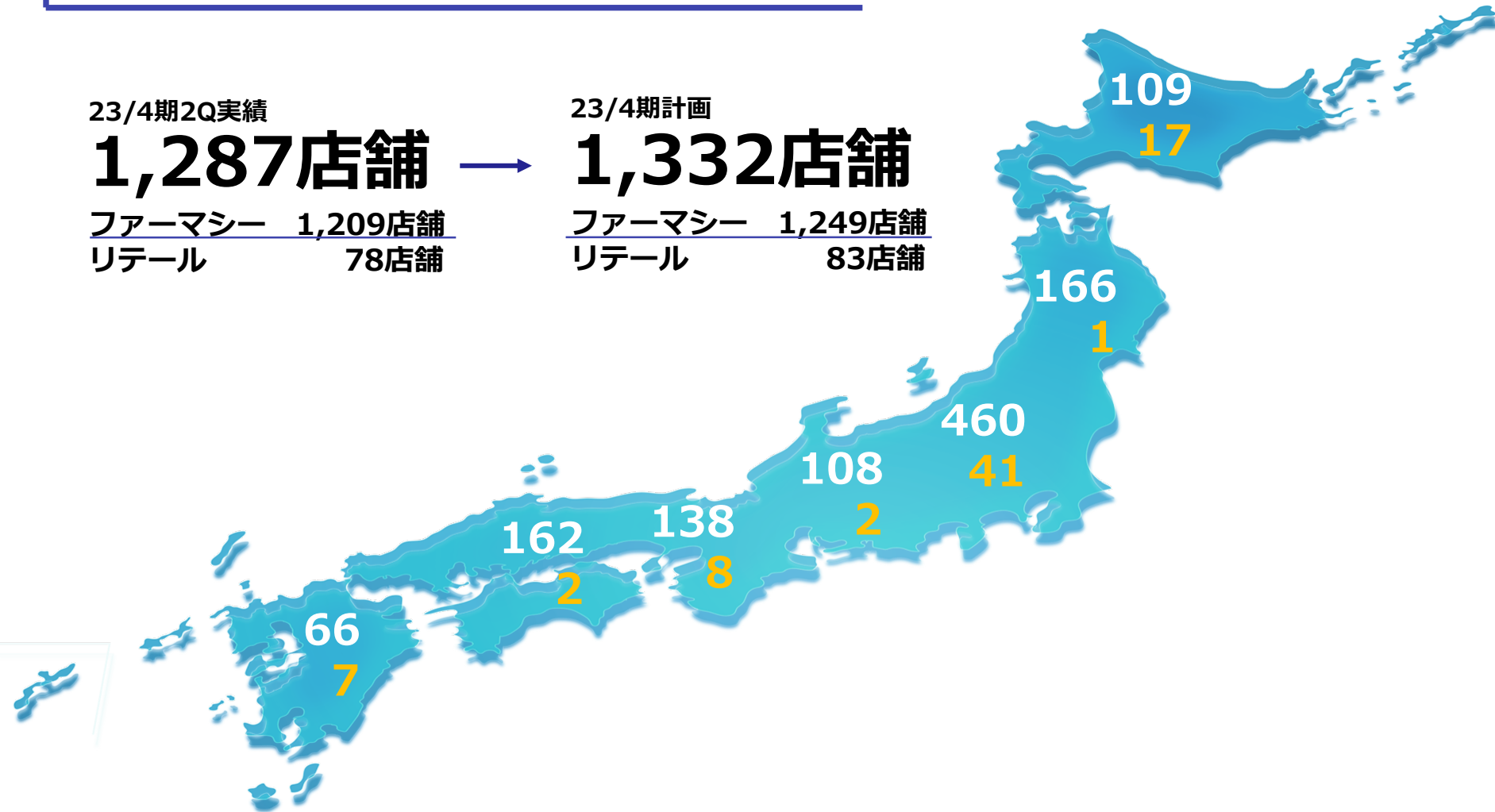
1,287店舗 →

ファーマシー 1,209店舗
リテール 78店舗

23/4期計画

1,332店舗

ファーマシー 1,249店舗
リテール 83店舗



▶ □:ファーマシー ■: リテール

トップラインの拡大

- ファーマシー事業 **160店舗**出店（オーガニック48店舗 M&A112店舗）
- リテール事業 **10店舗**出店

■ 実績及び計画

		23/4期2Q		23/4期	
		計画	実績	計画	実績
出店	ファーマシー	121	124	160	
	うちオーガニック	13	12	48	
	M&A	108	112	112	
	リテール	5	4	10	
合計		126	128	170	
閉店	ファーマシー	7	14	10	
	リテール	2	4	5	
	合計	9	18	15	

■ ファーマシー出退店推移

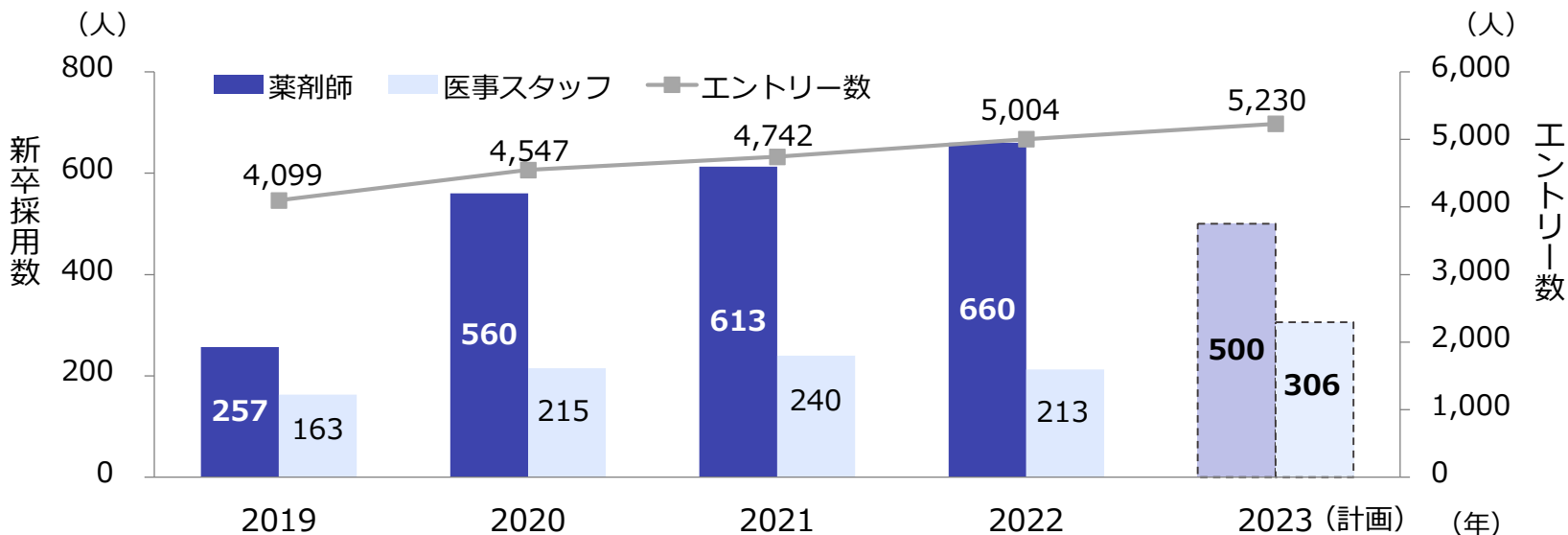
	17/4期	18/4期	19/4期	20/4期	21/4期	22/4期	23/4期2Q
オーガニック	27	25	23	14	15	25	12
M&A	182	11	134	6	14	24	112
EV/EBITDA倍率	5.50	3.96	4.88	3.71	3.74	4.13	6.79
閉店	24	73	54	64	52	15	14
うち譲渡	2	32	30	42	34	5	6
店舗数	1,066	1,029	1,132	1,088	1,065	1,099	1,209

▶ EV/EBITDA倍率=EV（M&A：買収価格）/EBITDA（営業利益+減価償却費）

人材採用 育成

- 新卒薬剤師500人を採用（22/4月 実績660人）
- フィールドマネジャー（FM）の定着
- 人材育成

22/4月660人の新卒薬剤師が入社した。23/4月の採用人数は約500人を計画している。
22/10月末時点では、従業員数13,523人うち薬剤師6,005人となっている。



経営基盤の強化

- DXの推進及び公式アプリ等による顧客サービスの向上
- サステナビリティ経営の推進

人々の健康や美に貢献する事業を通じ、グループ・ステートメントでもある「お客さまの元気と笑顔」を実現し続けるため、良識と倫理観を持った企業活動を行ってきた。これからも、お客さまをはじめ多様なステークホルダーの皆さまのことを考え、自ら変化し行動することで、企業の持続的な成長と、社会・環境・経済価値を創出し、サステナビリティ経営を実現する。

1. 地域医療への貢献

「地域全体で治し、支える」
医療に貢献する薬局となる



2. 美しさと健やかさの提供

現代社会において、毎日を楽しむための美しさと健やかさを提供する



3. 安全・安心と信頼

日々の業務を通じて、安全・安心と信頼を届ける

前文「すべての人々の人権の実現」



5. 健全な経営基盤

健全な経営基盤を強化する

前文「すべての人々の人権の実現」



4. 環境保護・負荷低減

環境保護及び負荷低減へ貢献する



6. 地域社会・取引先との連携

地域コミュニティ及びサプライチェーンとともに、健康な社会づくりとサステナビリティ活動を推進する



経営基盤の強化

- DXの推進及び公式アプリ等による顧客サービスの向上
- サステナビリティ経営の推進

持続可能な社会の実現には、グループのみならず、サプライチェーン全体で取り組むことも重要であり、取り組みのひとつとして「CSR調達」を推進している。

6.地域社会・取引先との連携

地域コミュニティ及びサプライチェーンとともに、健康な社会づくりとサステナビリティ活動を推進する



2022年11月1日、取締役会決議にて「アイングループCSR調達方針・ガイドライン」制定&開示。

今後当社グループ内及びお取引先さまに対し周知を進めるとともに、共にサステナビリティ活動を推進する。

アイングループCSR調達方針・ガイドライン

アイングループは、人々の健康や安全に貢献する事業を通じて社会の発展と持続可能な社会の実現を目的として、社会貢献活動に取り組んでいます。社会貢献活動の目的を達成するためには、従業員や取引先との協働が不可欠です。社会貢献活動の推進には、従業員や取引先との協働が不可欠です。社会貢献活動の推進には、従業員や取引先との協働が不可欠です。

本方針は、本方針を遵守していただくことにより、社会貢献活動の推進を図ります。本方針は、本方針を遵守していただくことにより、社会貢献活動の推進を図ります。

- #### アイングループ CSR 調達方針
1. 調達する製品の調達先を本方針に基づき、本方針を遵守していただくことにより、社会貢献活動の推進を図ります。
 2. 本方針を遵守していただくことにより、社会貢献活動の推進を図ります。
 3. 本方針を遵守していただくことにより、社会貢献活動の推進を図ります。
 4. 本方針を遵守していただくことにより、社会貢献活動の推進を図ります。
 5. 本方針を遵守していただくことにより、社会貢献活動の推進を図ります。
 6. 本方針を遵守していただくことにより、社会貢献活動の推進を図ります。

- #### アイングループ CSR 調達方針の目的
1. 社会貢献
- アイングループは、社会貢献活動を通じて社会の発展と持続可能な社会の実現を目的として、社会貢献活動に取り組んでいます。社会貢献活動の推進には、従業員や取引先との協働が不可欠です。

2. 健康・安全の確保
- アイングループは、健康・安全の確保を通じて社会の発展と持続可能な社会の実現を目的として、健康・安全の確保に取り組んでいます。

アイズ&トルペの拡大

- 好条件好立地への出店とコスト適正化

23/4期出店実績

4 店舗



神戸元町店
(22/6月オープン)



札幌ステラプレイス店
(22/10月オープン)



モザイクモール港北店
(22/5月オープン)



二子玉川ライズS.C.店
(22/10月オープン)

23/4期 計画 (連結)

23/4期はファーマシー事業160店舗、リテール事業10店舗の新規出店により、売上高は前期比114.8%、経常利益は前期比127.8%を見込む。

(単位：百万円)	21/4期 実績	22/4期 実績	23/4期 計画	前期 増減額	前期比 (%)
売上高	297,305	316,247	363,000	46,753	114.8
売上総利益	46,155	49,971	58,720	8,749	117.5
売上比 (%)	15.5	15.8	16.2		
販売管理費	35,222	34,832	38,720	3,888	111.2
売上比 (%)	11.8	11.0	10.7		
営業利益	10,932	15,139	20,000	4,861	132.1
売上比 (%)	3.7	4.8	5.5		
経常利益	12,649	16,041	20,500	4,459	127.8
売上比 (%)	4.3	5.1	5.6		
親会社株主に帰属 する当期純利益	6,697	7,092	11,000	3,908	155.1
売上比 (%)	2.3	2.2	3.0		
1株当たり 当期純利益 (円)	189.04	201.47	313.15	111.68	155.4
年間配当金 (円)	55.00	55.00	60.00	5.00	109.1

▶ 単位未満切り捨て

本件に係る照会先

**株式会社アインホールディングス
経営企画室**

TEL011-814-0010

FAX011-814-5550

<https://www.ainj.co.jp/>

事前に株式会社アインホールディングスの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。